※受験番号	

※欄は記入しないでください。

2027年度　大阪大学大学院法学研究科博士後期課程入学願書

大 阪 大 学 総 長　殿

貴大学大学院法学研究科博士後期課程に入学したいので、必要書類等を添付して出願します。

年　　月　　日

出願者

ふりがな		性別	□男 ・ □女
氏名		本籍（都道府県）（外国籍の方は国籍）	
生年月日	（西暦）		
現住所	（〒）		
電話番号			
E-mail			

出願資格【全選抜共通】 ※ 該当するものに○をすること。	（1）・（2）・（3）・（4）・（5）・（6）・（7）・（8）
選抜区分 ※1 該当する選抜に一つ☑をすること。 ※2 特別選抜を希望する者は各選抜の(a)(b)(c)の該当するものに○をすること。	□ （イ） 一般選抜
	□ （ロ） 社会人特別選抜（a）・（b）・（c）
	□ （ハ） 留学生特別選抜（a）・（b）・（c）※全て満たすこと。
	□ （ニ） 高度専門職特別選抜　（a）・（b）※全て満たすこと。
出身大学　区分	□国立 ・ □公立 ・ □私立 ・ □海外 ・ □その他
大学院・研究科・専攻	
修了(見込)年月	（□修了 ・ □修了見込）
職歴	□あり ・ □なし

選抜方法 一般選抜学力検査 注1: (イ)(1)論文試験又は(イ)(2)専門科目試験のどちらかを選択し□に✓を入れ、該当の欄に記入すること。また、(イ)(2)専門科目試験受験者はA、 Bのどちらか一方を選択し□に✓を入れ、該当の欄に記入すること。なお、社会人、留学生、高度専門職特別選抜学力検査では筆記試験はありません。 注2: ﾀﾞﾌﾞﾙ・ﾃﾞｨｸﾞﾘｰ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑによる出願者のうち該当者は□に✓を入れ、下記の「語学力」欄に記入のうえ、語学力に関する証明書を提出すること。	□（イ）(1) 論文試験	
	筆記試験科目名(外国語)	
	□(ダブル・ディグリー・プログラムに基づく出願者のみ)(注2)	
	□（イ）(2) 専門科目試験	
	□ A 筆記試験 （専門科目2科目の場合）	
	専門研究分野名	
	専 門 科 目 名	
	専 門 科 目 名	
	□ B 筆記試験 （専門科目1科目と外国語科目1科目の場合）	
	専門研究分野名	
	専 門 科 目 名	
	外 国 語 科 目 名	

語学力 （語学力を証明する試験等のスコアがあれば記入し、証明する書類を提出すること） ※留学生特別選抜による出願者は必須	(1)テストの種類 ・名称:	
	(2)テスト実施の日付:	
	(3)テストの成績（スコアや評価など）:	
資格等 （入学者選抜に際し考慮してほしいと考える資格等があれば記入し証明する書類を提出すること）	(1)資格等の名称:	
	(2)取得の日付:	

社会人記入欄	現職・総在職年数		
留学生記入欄	在留資格	□留学 ・ □その他	（具体的に）
	経費区分	□国費 ・ □私費 ・ □その他	（具体的に）
	大阪大学優秀な私費外国人留学生に対する授業料免除制度【※必ず募集要項の要件を確認すること】	□申請する（留学生特別選抜のみ） □申請しない	
本学在学生記入欄	学籍番号		

修士論文・リサーチペーパーの題名	
入学後専攻希望科目	

【履　歴】

・学歴は高校卒業時から現在に至るまでの履歴を記載してください。

	在　学　期　間 （　年　月　～　年　月）	事項（学校名、学部・研究科名、卒業(修了)・退学・在学中の別、取得学位）
学歴		

	在　職　期　間 （　年　月　～　年　月）	事　項（会社名等[所属]、業種、在職・休退職の別）
職歴		

願書記入上の注意

1. 入学後専攻する予定の科目(志望専攻科目)を次の中から1科目選択し、入学願書の入学後専攻希望科目の欄に記入してください。

憲法、行政法、環境法、税法、刑法、刑事訴訟法、民法、商法、労働法、社会保障法、
民事訴訟法、国際法、国際私法、国際取引法、国際経済法、知的財産法、
法理学、日本近代法史、西洋法制史、法社会学、中国法、政治学、政治過程論、
西洋政治思想史、日本政治史、国際政治学、比較政治学、行政学

2. 職歴については、内部異動の記載は不要です。

※願書の表面で「職歴あり」を選択した者は、次の該当する項目をチェックしてください。

・現時点（出願時）における在職状況・・・・・・・・・・・・・□退　職
□在　職（□就業中・□休職中）

・入学時の予定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・□退職予定
□在職のまま就学
（職場での扱い　□就業・□休職）